

## 第8章 田布施町の公共交通の将来像

### 1. 計画の基本理念・基本方針

本町の上位・関連計画や地域公共交通の現状と課題を踏まえ、本町の地域公共交通を維持・確保していくための指針となる基本理念を次のように設定します。

#### 基本理念

**田布施町の暮らしと利便を支える持続可能な公共交通**

#### 基本方針

##### 1 まちの実情に合った公共交通サービス

高齢者・高校生といった利用のメインとなる利用者のニーズ（出かけた時間や出かけた場所）に応え、障害がある方や子育て中の方にも利用いただける公共交通サービスを提供します。また、幹線交通を補完するサービスとして買い物送迎サービスを改善します。

##### 2 みんなで支える持続可能な公共交通

公共交通の利用促進や町民の外出機会の創出、公共交通の新たな事業の開拓とドライバー確保の支援などにより、持続可能な公共交通を提供します。

##### 3 様々な主体との連携と共創による交通まちづくり

交通サービスを提供する事業者や支援を行う行政だけではなく、町民や目的地となる施設など、交通に係わる多様な主体が連携・共創し、まちづくりと一体となった交通政策を推進します。

## 2.SDGsとの関係

持続可能な開発目標(SDGs)として国連が定める17の目標は、公共交通分野でも密接に関係します。本計画で該当する目標と目指す方向性を以下に示します。

3 すべての人に  
健康と福祉を



### 目標3 すべての人に健康と福祉を

公共交通を利用することで徒歩移動が増え、運動機会を確保できるため健康増進に効果があるとされています。また、外出を促進することでフレイル予防にも効果があるとされています。

11 住み続けられる  
まちづくりを



### 目標11 住み続けられるまちづくりを

公共交通が使いやすくなることで、自家用車を持たない人や運転免許を返納した人も生活を営み続けることができ、ふるさとに住み続けることができます。

また、ターゲット11.2には、以下のとおり公共交通に関する項目が規定されています。

2030年までに、脆弱な立場にある人々、女性、子供、障害者及び高齢者のニーズに特に配慮し、公共交通機関の拡大などを通じた交通の安全性改善により、全ての人々に、安全かつ安価で容易に利用できる、持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する。

17 パートナリシップで  
目標を達成しよう



### 目標17 パートナリシップで目標を達成しよう

行政、地域、事業者、その他関係するあらゆるステークホルダーとの間で連携を深め、公共交通を活かした取組を進めることが重要です。

### 3. 計画の基本目標

基本理念・基本方針に基づき、計画期間中に達成すべき基本目標をそれぞれ以下のとおり設定します。

#### 基本方針 ① まちの実情に合った公共交通サービス

高齢者・高校生といった利用のメインとなる利用者のニーズ（出かけた時間や出かけた場所）に応え、障害がある方や子育て中の方にも利用いただける公共交通サービスを提供します。また、幹線交通を補完するサービスとして買い物送迎サービスを改善します。

目標 1-1 利用者の利便性を向上するための公共交通サービスの改善

目標 1-2 町内移動を支える買い物送迎サービスの改善

目標 1-3 高校生の通学を支える公共交通サービスの改善

#### 基本方針 ② みんなで支える持続可能な公共交通

公共交通の利用促進や町民の外出機会の創出、公共交通の新たな事業の開拓と運転士確保の支援などにより、持続可能な公共交通を提供します。

目標 2-1 持続可能な公共交通とするための利用促進

目標 2-2 公共交通の担い手確保と事業性向上

#### 基本方針 ③ 様々な主体との連携と共創による交通まちづくり

交通サービスを提供する事業者や支援を行う行政だけではなく、町民や目的地となる施設など、交通に係わる多様な主体が連携・共創し、まちづくりと一体となった交通政策を推進します。

目標 3-1 様々な主体との連携・共創による交通まちづくり

## 4. 本計画でめざす公共交通の将来イメージ



| 区分  |                                                                                                                   | 役割と維持方針                                                                                                           |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 幹線  | 鉄道（JR山陽線）                                                                                                         | ◆都市間・隣接市町間の広域公共交通の軸となる<br>◆広域の通勤・通学、買物、観光などに対応                                                                    |
|     | 路線バス（防長交通）<br>●徳山駅前～柳井駅前                                                                                          | ◆近隣市町との広域的な移動・連携を支える<br>◆広域の需要に対応（通学・通勤等）<br>◆高校再編による新たな需要に対応<br>◆国の地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域間幹線系統 車両減価償却費等）を受け、路線を維持 |
| 支線  | 路線バス（防長交通）<br>●柳井駅前～田尻<br>●周東病院前～柳井駅～田尻<br>●柳井駅前～坂本病院・本町～田布施駅前<br>●柳井駅前～坂本病院・祇園～田布施駅前<br>●田布施駅前～祇園・坂本病院・柳井駅～周東病院前 | ◆地域内と隣接市町との移動・連携を支える<br>◆広域の需要に対応（通学・通勤等）<br>◆高校再編による新たな需要に対応                                                     |
|     | 航路<br>●馬島・佐合島航路(尾津漁港～馬島～佐合島～佐賀)                                                                                   | ◆離島の暮らしを支え、町内・隣接市町との移動を支える                                                                                        |
|     | デマンド型乗り合い交通<br>（予約型定額乗合タクシー）                                                                                      | ◆町内生活拠点への移動や広域移動に資する幹線への乗継拠点(JR田布施駅)までの移動を支える<br>◆国の地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域内フィーダー系統）を受け、路線を維持                       |
| その他 | 一般乗用タクシー（2社）                                                                                                      | ◆町内の移動を中心にして、ドア・トゥ・ドアの利便性の高いサービスを提供する                                                                             |
|     | スクールバス                                                                                                            | ◆公共交通を補完する利用者限定のサービス                                                                                              |

### これらでめざすサービス水準

クルマを自由に使えない方であっても、町内どこからでも町中心エリアへ移動できる公共交通を確保する。



高校生が周辺自治体に点在する学校へ通学できる公共交通を確保する。



柳井市、平生町、光市、周南市の医療・商業施設を利用可能とする公共交通を確保する。



## 5. 計画の目標と評価指標

本計画の計画期間中に達成すべき目標と、その達成状況を評価するための評価指標を以下のとおり設定します。

### 基本方針 ① まちの実情に合った公共交通サービス

|                                        |                                                |
|----------------------------------------|------------------------------------------------|
| [目標 1-1]<br>利用者の利便性を向上するための公共交通サービスの改善 | <b>評価指標①</b><br>町民アンケートの困りごとにおける「分かりにくい」のポイント数 |
| [目標 1-2]<br>町内移動を支える買い物送迎サービスの改善       | <b>評価指標②</b><br>予約型定額乗合タクシーの年間利用者数             |
| [目標 1-3]<br>高校生の通学を支える公共交通サービスの改善      | <b>評価指標③</b><br>通学における高校生の公共交通利用者率             |

### 基本方針 ② みんなで支える持続可能な公共交通

|                                 |                                  |
|---------------------------------|----------------------------------|
| [目標 2-1]<br>持続可能な公共交通とするための利用促進 | <b>評価指標④</b><br>公共交通の利用者数        |
| [目標 2-2]<br>公共交通の担い手確保と事業性向上    | <b>評価指標⑤</b><br>新たな運転士確保に向けた取組件数 |
|                                 | <b>評価指標⑥</b><br>補助路線における収支率      |
|                                 | <b>評価指標⑦</b><br>補助路線における行政負担額    |

### 基本方針 ③ 様々な主体との連携と共創による交通まちづくり

|                                    |                                         |
|------------------------------------|-----------------------------------------|
| [目標 3-1]<br>様々な主体との連携・共創による交通まちづくり | <b>評価指標⑧</b><br>町内生活拠点と共創による公共交通活性化事業の数 |
|------------------------------------|-----------------------------------------|

各評価指標の具体的な内容と目標値を、それぞれ以下のとおり設定します。

|                       |                                                                                           |                         |
|-----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|
| 評価指標①                 | 町民アンケートの困りごとにおける「分かりにくい」のポイント数                                                            |                         |
| 算出方法・算出対象             | 町が実施する町民アンケートにおいて、公共交通機関（防長バス）を利用する際の困りごとについて「時刻表が分かりにくい」「経路が分かりにくい」「行き先が分かりにくい」と回答した人の割合 |                         |
| 目標値設定の考え方             | 本計画で位置付ける事業により、現状より改善することを目標とする                                                           |                         |
| 評価方法                  | 計画期間最終年度に実施する町民アンケートにより評価する                                                               |                         |
| 評価時期                  | 計画最終年度                                                                                    |                         |
| 現状値（令和5年度）            |                                                                                           | 目標値（令和10年度）             |
| 「時刻表が分かりにくい」 9.3%     |                                                                                           | 「時刻表が分かりにくい」 9.0%以下     |
| 「経路が分かりにくい」 9.4%      |                                                                                           | 「経路が分かりにくい」 9.0%以下      |
| 「行き先が分かりにくい」 6.0%     |                                                                                           | 「行き先が分かりにくい」 5.0%以下     |
| 評価指標②                 | 予約型定額乗合タクシーの年間利用者数                                                                        |                         |
| 算出方法・算出対象             | 予約型定額乗合タクシーの年間利用者数<br>※集計期間は補助年度（前年10月～当年9月）とする                                           |                         |
| 目標値設定の考え方             | 令和4年度の利用者人数を3,600人／年以上を目標とする<br>（1日あたりの利用人数15人／日，1か月の稼働日数20日／月で算出）                        |                         |
| 評価方法                  | 利用実績を運行主体が整理し、町が取りまとめ                                                                     |                         |
| 評価時期                  | 毎年度                                                                                       |                         |
| 現状値（令和4年度）            |                                                                                           | 目標値（令和10年度）             |
| 540人                  |                                                                                           | 3,600人以上                |
| 評価指標③                 | 通学における高校生の公共交通利用者率                                                                        |                         |
| 算出方法・算出対象             | 田布施農工高校に通う高校生を対象としたアンケート調査で、公共交通を利用して通学している生徒の割合                                          |                         |
| 目標値設定の考え方             | 本計画で位置付ける事業により、現状より改善することを目標とする                                                           |                         |
| 評価方法                  | 計画期間最終年度に田布施農工高校で実施するアンケートにより評価する                                                         |                         |
| 評価時期                  | 計画最終年度                                                                                    |                         |
| 現状値（令和5年度）            |                                                                                           | 目標値（令和10年度）             |
| 「公共交通機関を利用している」 65.3% |                                                                                           | 「公共交通機関を利用している」 66.0%以上 |

## 参考 評価指標算出根拠

令和5年10月から12月に田布施町と徳山工業高等専門学校 目山研究室が、田布施農工高校と熊毛南高校の全生徒を対象に【自転車安全教育 事前アンケート】を実施いたしました。

アンケート項目の「ふだんの通学時の交通手段について」の設問の回答を利用し、今回の評価指標の目標値を設定いたしました。

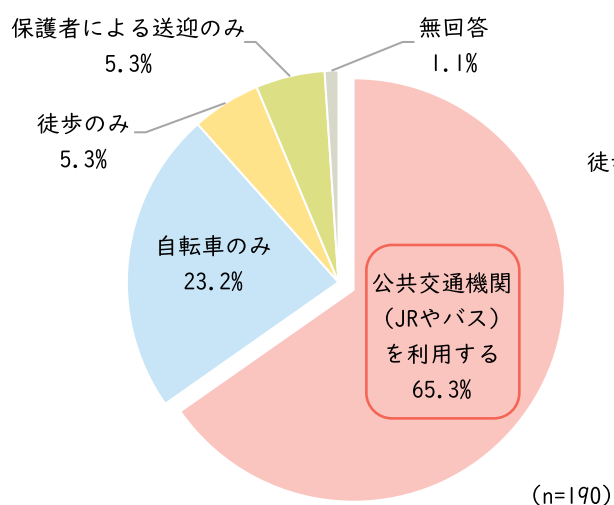
【調査対象】 田布施農工高校・熊毛南高校に通う生徒（全学年）

【調査期間】 令和5年10月～12月

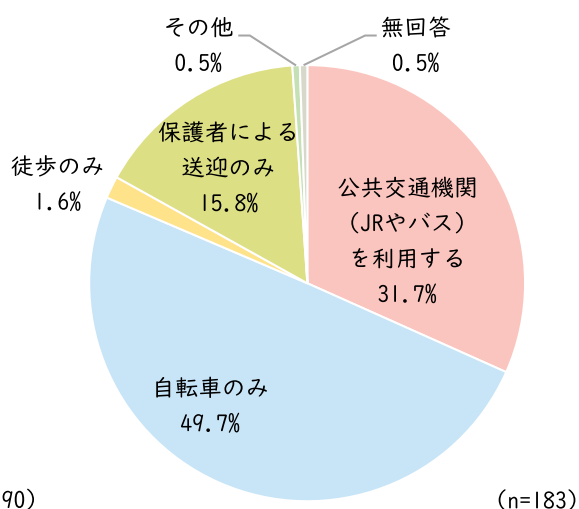
【配布・回収方法】 学校を通じて実施

【回収結果】 田布施農工高校 回収190部／配布339部 回収率 56.0%

熊毛南高校 回収183部／配布224部 回収率 81.7%



図表 通学時の交通手段  
(田布施農工高校)



図表 通学時の交通手段  
(熊毛南高校)

| 評価指標④     | 公共交通の利用者数                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 算出方法・算出対象 | <p>町内を運行する鉄道、路線バス、予約型定額乗合タクシー、航路の年間利用者数</p> <p>○鉄道：田布施駅の乗車人員（日あたり）<br/>※集計期間は会計年度（当年4月～翌年3月）とする</p> <p>○路線バス：田布施町内を運行するみなし4条路線の年間利用者数、および国庫補助路線対象系統の年間利用者数<br/>※集計期間は補助年度（前年10月～当年9月）とする</p> <p>○予約型定額乗合タクシー：年間利用者数（評価指標②を再掲）<br/>※集計期間は補助年度（前年10月～当年9月）とする</p> <p>○航路：年間利用者数<br/>※集計期間は補助年度（前年10月～当年9月）とする</p> |
| 目標値設定の考え方 | 予約型定額乗合タクシー以外は、現状値以上を目指す（運行主体より変更の可能性あり）                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 評価方法      | 利用実績を各運行主体が整理し、町が取りまとめ                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 評価時期      | 毎年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |

| 現状値(令和4年度) |          | 目標値(令和10年度) |            |
|------------|----------|-------------|------------|
| 鉄道         | 987人/日   | 鉄道          | 1,000人/日以上 |
| 路線バス       | 127,505人 | 路線バス        | 127,500人以上 |
| 買い物送迎サービス  | 540人     | 予約型定額乗合タクシー | 3,600人以上   |
| 航路         | 20,212人  | 航路          | 20,200人以上  |

| 評価指標⑤     | 新たな運転士確保に向けた取組件数                     |
|-----------|--------------------------------------|
| 算出方法・算出対象 | 運転士確保に向けた町の取組件数を整理し算出する              |
| 目標値設定の考え方 | 毎年継続して、周辺自治体と共に運転士確保の取り組みを行うことを目標とする |
| 評価方法      | 運転士確保に向けた町の取り組み実績により評価する             |
| 評価時期      | 毎年度                                  |

| 現状値(令和5年度) | 目標値(令和10年度) |
|------------|-------------|
| データなし      | 毎年1件以上      |

| 評価指標⑥     | 補助路線における収支率                                                                                                                                                                                                             |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 算出方法・算出対象 | 国庫補助を受けている路線バス、予約型定額乗合タクシーの対象系統の収支率<br>○路線バス：柳井～徳山線<br>○予約型定額乗合タクシー：全線（合算値）                                                                                                                                             |
| 目標値設定の考え方 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 燃料費や人件費の高騰、新たな移動手段導入等による費用の増分を想定しつつ、運賃値上げ、利用促進等による公共交通利用者の増加による運賃収入の増加を目指す（運行主体より変更の可能性あり）</li> <li>● 買い物送迎サービスから予約型定額乗合タクシーに変更し、サービス内容の改善による利用者の増加を想定し、運賃収入の増加を目指す</li> </ul> |
| 評価方法      | 収支の実績を各運行主体が整理し、町が取りまとめ                                                                                                                                                                                                 |
| 評価時期      | 毎年度                                                                                                                                                                                                                     |

| 現状値(令和4年度)      | 目標値(令和10年度)         |
|-----------------|---------------------|
| 路線バス 34.5%      | 路線バス 35.5%以上        |
| 買い物送迎サービス 11.8% | 予約型定額乗合タクシー 15.0%以上 |

| 評価指標⑦     | 補助路線における行政負担額                                                                       |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 算出方法・算出対象 | 国庫補助を受けている路線バス、予約型定額乗合タクシーの対象系統の行政負担額（町負担額）<br>○路線バス：柳井～徳山線<br>○予約型定額乗合タクシー：全線（合算値） |
| 目標値設定の考え方 | 燃料費や人件費の高騰、新たな移動手段導入等による財政支出の増加を想定しつつ、運賃値上げ、利用促進等による運賃収入増で過度な財政支出の抑制を目指す            |
| 評価方法      | 行政負担額の実績を町が取りまとめ                                                                    |
| 評価時期      | 毎年度                                                                                 |

| 現状値(令和4年度)        | 目標値(令和10年度)            |
|-------------------|------------------------|
| 路線バス 4,007千円      | 路線バス 4,400千円以下         |
| 買い物送迎サービス 1,008千円 | 予約型定額乗合タクシー 12,000千円以下 |

| 評価指標⑧     | 町内生活拠点と共創による公共交通活性化事業の数    |
|-----------|----------------------------|
| 算出方法・算出対象 | 計画期間内に実施された公共交通活性化事業の数の合計値 |
| 目標値設定の考え方 | 年間1件                       |
| 評価方法      | 公共交通活性化事業の数の実績を町が取りまとめ     |
| 評価時期      | 毎年度                        |

| 現状値(令和5年度) | 目標値(令和10年度) |
|------------|-------------|
| データなし      | 5件          |